

立教池袋 運動部通信

第86号

2020.12.11

ゴルフ部 秋の戦績

中学

○関東中学校ゴルフ選手権・特別大会 団体の部 (10/20 真名 CC ゲーリープレーヤーコース)

準優勝=231 ③榎本聖大 (76)、③諏訪貴皇 (79)、②中山真尋 (76) ⇒ 13年連続全国大会出場!

○関東中学校ゴルフ選手権・特別大会 個人の部 (10/20 真名 CC ゲーリープレーヤーコース)

25位③榎本聖大 (76)、25位 ②中山真尋 (76)、52位③諏訪貴皇 (79)、93位②山本健翔 (89)

111位③江口未来 (102)、119位③山口聖生 (107)、120位①前田隆之介 (108)



高校

○東京都高等学校ゴルフ選手権・特別大会 団体の部 (9/30 大宮国際 CC)

第5位=111 (日没の為、競技は前半のみのスコア)

③森山正斗 (37)、③井上和馬 (40)、②昌山大暉 (34) ⇒ 関東大会出場

○東京都高等学校ゴルフ選手権・特別大会 個人の部 (9/30 大宮国際 CC) (日没の為、競技は前半のみのスコア)

ときコース

4位②昌山大暉 (34)、13位③森山正斗 (37) ⇒ 関東大会出場

17位①松崎航大 (38) ②星野豪汰 (38)、28位②上村侑輝 (40) ③井上和馬 (40)、36位①村路湧仁 (42)

ひばりコース

8位①阿出川宗哉 (38) ⇒ 関東大会出場 21位②萱森王恭 (41)、31位③中島幸輝 (43) ②吉川翔洋 (43)

○関東高等学校ゴルフ選手権・特別大会 団体の部 (10/31 那須野ヶ原 CC)

第19位=246 ③森山正斗 (86)、③井上和馬 (83)、②昌山大暉 (77)

○関東高等学校ゴルフ選手権・特別大会 個人の部 (10/31 那須野ヶ原 CC)

39位①阿出川宗哉 (77)、43位②昌山大暉 (77)、96位③森山正斗 (86)、

○東京都高等学校ゴルフ選手権・秋季大会 個人の部 (11/9 取手国際 GC)

11位②昌山大暉 (76)、22位②星野豪汰 (78)、①阿出川宗哉 (79) ⇒ 関東大会出場

41位①松崎航大 (81)、46位②吉川翔洋 (43)、51位②上村侑輝 (83)、57位①村路湧仁 (42)、

66位②萱森王恭 (88)、95位②土生田竜史 (105)

今後の予定

○全国中学校ゴルフ選手権・特別大会 団体の部 (12/15~18 COCOPA RESORT CLUB 三重白山ゴルフコース)

○関東高等学校ゴルフ選手権・秋季決勝大会 (12/24~25 千葉一の宮 CC)

共通

○新体制 キャプテン：高②上村侑輝、副キャプテン：高②萱森王恭

～秋の大会(新人戦)結果～

お待たせしました。今年度の運動部通信第2号です。

今年の春・夏は様々な大会が中止となってしまいましたが、秋になってようやく、無観客ながらも少しずつ大会が行われるようになりました。

厳しい状況の中でも、試合ができる喜びをかみしめながら、多くの選手が活躍を見せてくれたようです。

皆さんぜひ全ての部の報告を読んでみてください!

陸上競技部

高2川嶋、関東選抜新人大会 8位入賞



都新人棒高跳
第3位島村涼太

9月25~27日にかけて東京都新人が行われた。初日の400mでは高2川嶋が自己ベストで6位に入り、本命の800mに弾みをつけた。2日目には棒高跳に出場した高2島村が自己ベストタイの4m10を危なげなくクリア。3位となって関東大会出場を決めた。最終日の800m決勝ではリレーを含めて3日間で5本目のレースとなる川嶋が登場。満身創痍での挑戦であったが、ラスト200m手前から積極的に仕掛ける見事なレース運びで優勝をさらった。続く10月に群馬県で行われた関東大会では、絶好調で臨んだ島村であったが本番ではうまくポールが合わず、結果を残す

ことができなかった。川嶋は予選を突破し決勝ではスタートから単独で先頭を走るレースに挑戦するも、後半では失速し8位となった。両者ともに来年の全国大会で闘うためにはまだまだ力をつける必要があるが、そのステップとしてよい「敗北」を味わうことができた。

中学生では2年林が豊島区の代表として10月に行われた支部対抗大会(都大会)に出場した。陸上大会の経験が浅い林ではあったが、その身体能力を遺憾なく発揮し、走幅跳で6位に入賞した。



支部対抗大会走幅跳
第6位林京乃佑

同じく中1見城が1500m、中2川辺が棒高跳で出場し、上位入賞こそ届かなかったが、中学生も来年に期待が持てるシーズンの終わりとなった。

わずかながらようやく大会に出場する機会をもてた秋のシーズン。活動できること自体に感謝しながら、来年の大活躍に向けて日々コツコツと力をつけていきたいと思えます。



関東新人800m
第8位川島康駿

山岳スキー部(中学)

全国中学校スキー大会東京都選考会 大会日程

2021年1月4日(月)~5日(火)、北志賀よませ温泉スキー場にて全国中学校スキー大会東京都選考会が行われます。年に一度の中学の大会です。

山岳スキー部(高校)

全国関東高等学校スキー大会東京都予選会 大会日程

2021年1月5日(火)~7日(木)、群馬県鹿沢スノーエリアスキー場にて全国関東高等学校スキー大会東京都予選会が行われます。インターハイ・関東大会につながる大会です。

今年度は多くの運動部の大会が中止される中、大会ができることに感謝です。
(※今年度の東京都高等学校スキー大会は中止となりました。)



中高 水泳部

1. 日々の活動

中高ともに、なかなか大会の機会に恵まれない中、日々の練習には一生懸命取り組んでいます。中高ともに、9月は東京都特別水泳大会に、高校生は、11/8(日)に行われた東京都高等学校チャレンジ水泳競技大会に出場しました。

目標を見出して練習に取り組むのが難しい時期ではありますが、部員一人ひとりが先を見据えて練習に取り組んでいます。

2. 中高新三役

高校 キャプテン：山岸 副キャプテン：浦澤 マネージャー：小石
 中学 キャプテン：浦澤 副キャプテン：岡本 マネージャー：大内

以上のメンバーで新チームを作り上げていきます。新しい生活様式のなかで行われる学友会活動を有意義なものにできるように、水泳部全体を盛り上げていってくださることを期待しています。

顧問

中学卓球部

■秋季区大会

- ・団体 3位 (阿部・飯田・長副)
- ・個人 新型コロナウイルス感染症の影響により、試合なし

新型コロナウイルスの影響などにより、なかなか練習もできない中で臨んだ試合は、結果として悔しいものとなった。しかし、「負けたことが財産になる」という言葉を今こそ噛みしめ、次の大会に向けて前を向こう。

学年別で練習をしていた状況から、1・2年生一緒になった練習へと切り替わった。多くの部員で活気あふれる練習は、部の成長を感じる場所でもある。コーチはもちろんのこと、色々な先生からの助言やトレーニングがきっと成長の糧になる。自分のベストを尽くし、その個の集合体であるチームの成長につなげていこう!!

■大会予定

□都新人大会 (個人戦) 12/26～

中学2年・阿部が出場します。応援よろしくお祈りします!!



中高剣道部

今年度の中高剣道部は6月以降に少しずつ活動を再開した。8月前半の分散登校が継続する間は全員そろえることができず3~4人で稽古をするしかなかったが、夏休み以降は全員で活動することができるようになった。

大きく違うのは中高ともに大会が全くないこと。ここまでで中止となった大会は以下の通りである。

(中学)	第4ブロック春季剣道大会	(高校)	関東大会東京都予選
	東京都春季剣道大会		全国大会東京都予選支部大会
	五大学付属剣道大会		全国大会東京都予選
	豊島区秋季剣道大会		五大学付属剣道大会
	第4ブロック秋季剣道大会		東京都秋季剣道大会
	東京都秋季剣道大会		豊島区秋季剣道大会
			第3支部剣道大会

現在のところ中高とも1月以降に開催される予定はあるものの、具体的な目標を設定できないのがつらいところだ。

それでも他校との活動も少しではあるが行うことができた。本校に学習院中高、都立青山高校、千登世橋中学校が来て下さったし、立教新座中高にも数回でかけられているのはありがたいことだと思っている。

まだまだつらい時期は続くが、基礎力をつけるよい期間ととらえ、地道に稽古を続けたいと思う。



中学サッカー部

<東京都私学大会>

10月25日(日) 立教池袋 1-3 城北

<秋季(新人)大会>

豊島区大会(予選リーグ)

1試合目 立教池袋 0-1 千川
 2試合目 立教池袋 4-2 巣鴨
 3試合目 立教池袋 7-1 巣鴨北

※予選リーグ2位通過

豊島区大会(決勝トーナメント)

ベスト8 立教池袋 6-3 西池袋
 準決勝 立教池袋 4-1 千登世橋
 決勝 立教池袋 0-1 学習院

※豊島区2位としてブロック大会(支部大会)に出場

ブロック大会(第四支部大会)

1回戦 立教池袋 4-1 日大豊山
 都大会決定戦 立教池袋 1-3 赤塚第三

※コンソレ(敗者復活戦)へ

コンソレ1回戦 立教池袋 4-2 文京第三
 都大会決定戦 立教池袋 0-1 学習院

コロナウイルスの影響でスケジュールが大幅に変更された私学大会では、新人戦と日程が重なり参加人数が少なくなってしまったものの、3年生は持てる力を尽くして試合を戦い抜くことができた。キャプテンの中丸を中心に、チームとしての団結力が強く、後輩たちに時には優しく、時には優しく接することができる学年だった。先輩たちの姿から、1・2年生は非常に多くを学ばせてもらったことだと思う。現在参加させてもらっている高校サッカー部でも、大いに活躍してもらいたい。

新チームにとって初めての大会となった新人戦では、9月から11月の2か月間を2年生主体で戦った。初戦ではできなかった「戦う」ということが徐々にできるようになり、大会を通して成長することができたのではないだろうか。

今後の課題としては、個人技術の向上と、「妥協せずに部活に取り組むこと」だろうか。皆が同じ目標に向かい、同じ意識を持って取り組むことができなければ、チーム全体が上に行くことは不可能だと言える。部員一人ひとりが向上心を持ち、仲が良かった関係ではなく、時にはお互いに厳しく、刺激を与えられるような人間になってもらいたいと願っている。



中学バスケットボール部

☆豊島区秋季新人大会☆ 優勝!!

- 1回戦 立教池袋 80 - 16 学習院
- 2回戦 立教池袋 56 - 32 巣鴨
- 準決勝 立教池袋 70 - 21 西巣鴨
- 決勝 立教池袋 72 - 26 巣鴨北

この結果、東京都新人大会に進出となりました。

中学3年生がちょうど1年前に、あと一歩というところで味わった悔しさを晴らしてくれました。2年生を中心にした現チームのがんばりはもちろんのこと、練習相手となってくれた中学3年生・高校生、コロナ禍でも多くのサポートをしてくださった保護者の皆様の支えもあって、この結果が得られたのだと思います。ちなみに中学2年生の先生方も、試合の様子をすごく気にしてくれていて、結果をお伝えしたらとても喜んでくださいました。

今年は新型コロナウイルスの影響で夏の私立大会が中止となり、今大会が初めての公式戦でした。1回戦から危なげのない内容であったようにみえますが、その中にも多くの課題があり、都大会に向けて真摯に練習に取り組む必要があります。

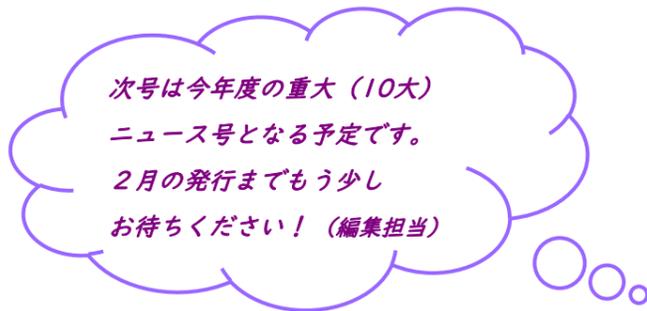
感謝の気持ちをプレーに込めて、都大会に向けてがんばろう!!



東京都新人大会日程

2021年1月10日～31日の日曜、祝日
応援よろしくお願いたします。

(顧問 市橋祐介)



次号は今年度の重大(10大)
ニュース号となる予定です。
2月の発行までもう少し
お待ちください!(編集担当)



中学庭球部 試合結果報告

<都新人団体戦結果 第3位、関東出場決定!>

3回戦 5-0 対 緑野	準々決勝 4-1 対 成城学園
D2 三田・秋山 6-0	D2 島田・目黒 0-6
D1 島田・目黒 6-0	D1 三田・秋山 6-0
S3 金子 6-0	S3 鈴木(陽) 6-4
S2 平田 6-1	S2 金子 6-1
S1 林 6-0	S1 林 6-0

4回戦 3-0 対 稲城五	準決勝 1-3 対 日大三
D2 島田・目黒 6-2	D2 島田・目黒 0-6
D1 三田・秋山 6-0	D1 三田・秋山 6-3
S3 金子 6-1	S3 金子 2-6
S2 平田 打ち切り	S2 平田 0-6
S1 林 打ち切り	S1 林 打ち切り

5回戦 3-0 対 暁星	3位決定戦 3-2 対 成蹊
D2 島田・目黒 6-4	D2 島田・目黒 1-6
D1 三田・秋山 6-1	D1 三田・秋山 6-2
S3 平田 打ち切り	S3 金子 6-2
S2 金子 打ち切り	S2 平田 0-6
S1 林 6-0	S1 林 6-1

<関東新人団体戦結果>

2回戦 2-3 対 慶応湘南藤沢
D2 三田・秋山 6-7(3)
D1 島田・鈴木(陽) 0-6
S3 目黒 0-6
S2 金子 6-2
S1 林 6-1

※例年8月末から始まる新人戦だが今年度は感染症のため個人戦は中止、団体戦のみ無観客での実施となった。応援部員による団体戦の空気づくりが果たせない中、代表選手たちは都では強豪校を打ち破り見事3位に入賞。一方関東では無念の初戦敗退。全国へ道をつなぐことができず辛酸を舐めた。自信を持って一球を打つことの難しさを改めて知ることとなった。

中学野球部

<新チームの戦績> 1年生:13名、2年生:4名

▽ 秋季豊島区大会

一回戦	vs 巣鴨	10-2	○
二回戦	vs 千登世橋	10-2	○
準決勝	vs 本郷	8-7	○
決勝	vs 西池袋	0-3	●

▽ 秋季第4ブロック大会

vs 明桜(北区)	1-2	●
vs 西台(板橋区)	3-5	●

都大会出場ならず

いま振り返れば、よく頑張ったと言える秋季大会でした。活動を再開してから3週間でいきなりの大会で、技術も精神も戦略も表面的な部分を整えるのが精一杯なチーム状態で臨みました。しかし今現在は、多くの練習と試合を積み重ね、着実に個々もチームも成長をさせてきています。このまま来シーズンを迎えることが出来れば、きっと良い結果が出せるでしょう。これからも、活動の目的と目標を明確にして、自分と仲間に本気で向き合えるよう、選手と共に頑張っていきます。

<今後の予定>

12月~2月: 練習及び練習試合

3月: 下町杯GAINTS中学野球大会に出場、その他多くの練習試合

4月~5月: 春季大会、6月~8月: 夏季大会



高校卓球部

東京都高等学校新人卓球大会

団体	立教池袋
1回戦	vs シード
2回戦	vs シード
3回戦	vs 府中 2-3 ●

個人(シングルス) 途中経過

小田圭将(高2)	5回戦以上	(2月に決勝大会)
福元颯太(高2)	5回戦以上	(2月に決勝大会)

練習試合も出来ない中、1,2年生にとっては初の公式戦になった選手もいる都新人大会で、しっかり成績を残している選手もいる。無観客試合のため応援などができず淡々と終わってしまう大会だが、新入部員ながら1勝を勝ち取れた選手もいれば、惜敗で悔しい思いをした選手もいた。まだ12月13日に試合を控えている選手もいるが、実力を出し切り2月の決勝大会へ勝ち進めることを願っている。



高校庭球部

■大会開催状況

①第59回 東京都高等学校新人テニス選手権大会

▽ シングルス

予選決勝進出…柳澤義鷹 (2年)・・・8ポイント獲得

本選1R進出…植松希大 (1年)・・・15ポイント獲得

▽ ダブルス

予選決勝進出…室井 (2年)・高山 (2年)

本選1R進出…柳澤 (2年)・松岡 (2年)

②令和二年度 東京都選抜高校テニス大会 (兼関東選抜予選大会)

学校ポイント不足により今年度は出場ならず (都22位)

③第45回 東京都私立中学高等学校テニス選手権大会 (団体の部)

立教池袋高校Aチーム 5回戦進出 (都ベスト16)

立教池袋高校Bチーム 3回戦進出

④第44回 東京都私立中学高等学校テニス選手権大会 (団体の部)

12月26日(木)～ シングルス 12名が出場予定

高校3年生の“引退試合”として位置づけられた「私学団体戦」。本校コートでの試合を皮切りに、高3が二チームに分かれて出場した。都の上位校と対戦した大舞台では、半年前に一度はあきらめたコートでの“躍動”を呼び覚ますことができた。出し切り、次のステージへ向かう力を得られたのなら嬉しく思う。高校3年生お疲れ様でした。1・2年生は16校戦に行けなかった苦い思いを片時も忘れぬ冬にするのみ。(顧問)



3年生

2020年夏季東西東京都高校野球大会

1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
王子総合	1	0	4	1	0	1	1	1		9
RIKKIO	1	1	0	0	0	0	0	0		2

※ 8回コールド

秋季東京都高等学校野球大会ブロック予選

1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
RIKKIO	0	0	0	0	0	2	0	1	0	3
都立上水	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2

代表決定戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
RIKKIO	2	0	0	2	0	0	4	0	6	14
桐 朋	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2

秋季東京都高等学校野球本大会

1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
RIKKIO	0	1	0	1	0					2
国士館	1	8	0	0	3X					12

※ 5回コールド

昨年の秋季大会において一次予選を突破し本大会に出場したことにより、今年の春季大会は一次予選が免除され、本大会から出場することが決まっております。夏の選手権のシード権獲得に向けて春季大会に臨もうとしていた矢先にコロナウイルス感染症の感染拡大により学校が休校となり、野球部活動も停止。春季大会は中止となり、夏の選手権も全国大会(甲子園)の中止が決まり、3年生にとっては何もできないまま引退することになるかもしれないという不安の中、東京都高野連が独自大会の開催を決め、何とか最後の大会に参加しプレイすることができるようになりました。

しかしながら、6月半ばからの分散登校開始後から練習は再開しましたが、分散のため時間も限られ、また部員全員が集まった練習は一度もできず、かろうじて練習試合で2回全員が顔を合わせる事ができたという状況でした。都内の学校も同じような状況だったとは思いますが、ほぼぶっつけ本番のような状態で大会に臨むことになりました。そんな状況下でも文句も言わず黙々とプレイし続けた3年生たちはとても立派だったと思います。

そして、制約がある中でも野球ができることの喜びを実感しながらスタートした新チーム。例年行っている合宿も遠征もできず、練習試合の数も少ない中で秋季大会に臨むことになりましたが、これもどこの学校も似たような状況。そんな中苦戦を強いられましたが、昨年同様、一次予選を突破し本大会に出場しました。本大会の初戦は秋の都大会3連覇を狙う強豪でしたが、ジャイアントキリングを起こそうと奮闘しましたが力及ばず。強豪校の強さを体感することとなりました。しかしながら、強がりと言われるかもしれませんが思ったほどの強さを感じなかったのも正直なところ。やるべきことをしっかり各自がやれば勝負できると感じました。ただ、それができるのが強いチームで、できないから負けるのが弱いチーム。弱いなら練習を重ねて強くなればよいだけの話。春季大会まで4か月弱。またいつ野球ができなくなるかもしれない状況ではあるが、今できることを精一杯やって、春に備えてほしい。あとで後悔しないように、しっかりと肝に銘じて取り組んでほしい。

高校サッカー部



28名と少人数であるが、練習中は全員で声を掛け合いながら雰囲気盛り上げている。中3も11月後半から練習に参加し始め、徐々に雰囲気に慣れてきている。11月から新チームの新人戦がスタートし、そこに向けてチーム一丸となって練習に取り組んだ。

新チームの状況

新人戦結果

1回戦 対 城西 1-0 ○
2回戦 対 文京 3-2 ○
3回戦 対 豊島学院 1-1 (PK 3-4 ×)

2回戦で過去2回負けている文京高校にリベンジできたことは大きな収穫。開始早々に1点を決め、練習通りに試合を展開することができた事が勝因。3回戦はなぜか序盤のゲームへの入り方が堅く、前半に先制された。後半に入り、メンバー、システムを多少変更し、流れはこちらに傾いた。その後、待望のシュートがきれいな形で決まり、同点に追いついた。勝ち越す事ができず、即PK戦へ突入。フィールドプレイヤー、キーパー全員で気持ちを一つにして頑張ったが、3-4で敗退。悔しい一言。次の公式戦は来年の4月。それまで、この悔しさを忘れてはならない。(顧問より)



高校バスケット部

来年1/10よりいよいよ新人戦本大会!(都大会)
初戦の相手は都日野高校です。引き続き頑張ります!!

★ Tokyo Thanks Match (3年生が出場した大会) 結果

vs法政大高 90-53, vs青稜 62-43, vs城北 65-40, vs國學院久我山 28-115

インターハイ予選の代替試合として行われたTokyo Thanks Matchには3年生の3名が出場、今年度最初の大会が引退をかけたものとなってしまいましたが、後輩たちも懸命についてゆき、接戦をものにしてシードである國學院久我山との対戦まで勝ち進みました。残念ながら久我山には敗れましたが、最後まで戦った3年生はカッコイイ姿を残してくれました。

★ 新人戦支部大会結果

vs東大附属 90-40, vs都光丘 82-49, vs都大泉73-63, vs明大中野55-50, vs東海大菅生36-90

昨年に続き支部ベスト8、本大会出場を目指して戦った支部大会。1ゴールを争う試合も何とか勝ち抜き見事2年連続で支部ベスト8(都ベスト40)となって本大会出場を決めました!!